

-----12月27日-----

今週のアウトルック(12/27～12/31)

先週は一週間を通して、円高が進む結果となりました。ドル円、ユーロ円、ポンド円ともに円高が進むことになったのですが、豪ドル円だけはさほど変わらずという状況でした。

今週は海外相場はすでに2011年を見越した取引となるため、このまま円高が進むのか、円安に転換するのか大きく見方が分かれるところですが、各通貨ペアともにレンジ下限に近づいていることから、一度は反発する可能性が高いように思います。

ドル円は12月の初めに、82.5円あたりをリミットとして反発していることから、そろそろ一度反発する時期がきているように思います。今週は大きく動向を左右するような米国の経済指標の発表がないため、本格的な動きとなる新年度に備えて、一度大きく買い戻しが入るのではないかと考えます。

ドル円の予想レンジは82.5円から84円です。

ユーロも月初の下限レートに近付き、売られすぎ感が高くなっていることから、そろそろ反発する時期のように思います。

ただ、ユーロドルが1.3を割った場合に、年末年始の東京市場の薄商い時を狙った仕掛けが入る可能性もあるように思います。ユーロドルの動きによっては、ユーロ円も大きく下げる可能性を考慮する必要があるように思います。

ユーロ円の予想レンジは106円から112円です。

ポンド円も、基本的には一度反発する可能性が高いものの、ユーロドルの動きによっては、急落する可能性もあります。特に31日からの動きには注意が必要です。

ポンド円の予想レンジは125円から130円です。

年末から年始にかけて大きく動いた年は、過去何度か存在しています。今年も十分な警戒が必要なように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。